



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



浜松東、浜北地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施！（6月、7月）

浜松東地区、浜北地区安全運転管理協会では、本年6月、7月中に地区内で発生した交通死亡事故等の再発防止を期して、管轄警察署が実施した「交通死亡事故現場診断」に参加し、交通事故防止対策等について協議しました。

【浜松東地区】

6月30日（火）、浜松東警察署、浜松市役所、土木事務所、交通安全協会浜松東地区支部等の関係団体と浜松東地区安全運転管理協会から事務局長及び現場付近の会員事業所安全運転管理者等5人が参加し、合計26人により、

6月21日（日）早朝、浜松市東区和田町地先の国道で発生した交通死亡事故（中型貨物車と自転車が衝突した交通事故、自転車の49歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は常時交通量の多い国道で、現場診断及び検討会を実施した結果

- 交通量が多い国道で、直近には大型交差点があり交通事故が発生しやすい状況から、自転車を含む通行車両に対する注意喚起の看板設置を検討する。
- 道路整備の面から、道路脇に矢印ペイントで自転車通行帯設置を検討する。
- 再発防止のため、通行車両等に対する街頭広報や会員事業所への広報啓発活動を推進する。

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【参加者により再発防止検討会を実施】

【浜北地区】

7月2日(木)、浜北警察署、浜北区役所、交通安全協会浜北地区支部、自治会等関係団体と浜北地区安全運転管理協会から本年度推進事業所「エンシュウ(株)浜北工場」と会員事業所である「(株)トーエネック浜北営業所」「浜北消防署」「中部電力パワーグリッド(株)浜北営業所」の安全運転管理者4人が参加し、合計27人により

6月23日(火)の昼頃、浜松市浜北区小松地先の県道で発生した交通死亡事故(横断中の歩行者と右折の軽四乗用車との衝突事故、歩行者の67歳女性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は信号のある交差点で、現場診断及び検討会を実施した結果

- 交差点の道路の先が一部カーブとなっているため、右折する場合など、対向車が確認しにくい。
- 交差点の右左折をより適正にするため、交差点中央部の道路標示の設置を検討する。
- 車両の運転者や付近住民、また会員事業所に対する交通事故防止の広報啓発をさらに推進する。

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【浜北署員から事故状況を説明】



【事故現場の確認と検討会を実施】